

2013 年度事業計画

自 2013 年4 月 1 日

至 2014 年3 月 31 日

公 1

眼科分野で国民医療の普及・向上を図り、健康の維持発展に寄与することを目的に行う事業

【1】視能に関する学問の発展を促進し、もって視能障害防止、眼保健衛生の普及・向上を図る事業

1. 健診・検診に関する事業

- (1) 新生児から成人に至るまでの視覚発達に関する情報をインターネットホームページに掲載する。
- (2) 視覚感受性期にある乳幼児を対象とした「目の健康チェックシート」をインターネットホームページに掲載（ダウンロード可能）するとともに、当該文書を各市区町村医療センターへ配布し、乳幼児期に発見し治療すべき疾患への注意を促す。
- (3) 三歳児健康診査での眼科検査方法を解説した「三歳児健診マニュアル」をインターネットホームページに掲載し（ダウンロード可能）、検査技術及び精度の地域格差を改善する。
- (4) 国民が生涯の各時点で対象となる眼科各種健診および検診の重要性を、視覚器の発達および加齢に伴う変化と組み合わせた健診・検診年表（仮題）として作成し、国民に眼保健衛生の重要性を伝える取り組みを行う。
- (5) 全国で開催される「目の愛護デー」関連事業へ参加協力し、眼保健衛生の普及・向上に努める。特に東京都においては、東京都眼科医会が主催するTokyo Eye Festivalに参加し、視能に関するトピックスを来場者に紹介することを通じて、視能訓練士がquality of visual life に果たす役割を広くアピールする。

2013年9月15・16日（日・祝）：新宿西口イベント広場

- (6) 学校健康診査における眼科検査へ参加し、学童の健全な視覚発達を支援する。また、保健師を対象とした講演会等で眼科健診の重要性を啓発する。

2. 広報事業

- (1) インターネットホームページ等を通じて社会へ眼保健衛生の啓発と推進を行う。
- (2) インターネットホームページに倫理規程を公示し、視能訓練士の職業倫理の高揚と業務への責任を喚起する活動を行う。
- (3) 協会ポスターをリニューアルし、リーフレットと共に会員や関連諸団体へ無料配布して「視能訓練士」の名称および職務を国民に向けて広報する。
- (4) 東京都看護協会がナイチンゲール生誕記念事業として主催する「看護フェスタ」へ参

加し、来場者の視力検査を行い、眼疾患を啓発するパンフレットおよび視能訓練士に関するリーフレットを配布する。

2013年5月12日(日)：新宿西口イベント広場

(5) 中学生・高校生を対象に視能訓練士の職務を、視能矯正学を学ぶ学生に対しては、協会活動を紹介する機会を積極的に設け、早期から本職や本協会への興味や理解を促す。

(5) インターネットホームページの拡充を行う。

3. 調査事業

(1) 視能矯正・訓練普及の実態調査を行う。

(2) 視能の病態および視能矯正の実態調査を行う。

(3) 2015年に実施する視能訓練士実態調査に向けた準備を行う。

(4) 新規免許取得者の就業状況調査を行い、新卒者の就業傾向を把握する。

(5) 視能訓練士が行う業務と診療報酬との関連について調査を行う。

(6) 日本視能訓練士協会定款施行規則を検討し、必要に応じて改定する。

4. 渉外事業

(1) 国内関係諸団体との相互の協力について交流を密にする。

1) 監督官庁（内閣府）及び関係官庁（厚生労働省・文部科学省）へ、協会の現況について連絡交流を図る。

2) 研究諸団体（日本眼科医会・日本眼科学会・日本弱視斜視学会・日本眼光学学会・医療研修推進財団・国際医療技術財団・日露医学医療交流財団、等）と学術・技能向上の為の提携交流を図る。

3) 医療技術者21団体協議会・東京都医療従事者ネットワーク連絡会に参加し、医療技術者団体間での交流を図り、医療技術者の相互理解を深める。

4) 国民医療推進協議会（会長：日本医師会会長）へ参加し、参加団体と協力して国民皆保険制度を守る活動を行う。

5) チーム医療推進会議へ参加し、医療技術者団体間の連携を深め、医療技術者の社会的地位向上に向けた活動を行う。

(2) 国外の視能矯正学分野に関係する団体と交流し、知識・技術の提携を行う。

1) 国際視能矯正協会代表者会議及び年次総会に出席する。

2013年国際視能矯正協会(IOA)理事会 2013年9月24-26日：ミラノ

2013年国際視能矯正協会(IOA)年次総会 2013年9月27日：ミラノ

2) アジアの友好国（フィリピン、タイ、カンボジア、モンゴル、シンガポール等）との関係を深め、技術提携のための実態調査を行う。

2013年7月～8月：モンゴル（予定）

3) 国際医療技術財団の個別研修事業に参加し、アジア友好国からの研修生を受け入れ、国内で医療技術研修を行う。

2013年10月～12月：フィリピン研修生（予定）

4) 国際小児眼科斜視学会設立会議へ参加し事業に協力する。

AAPOS-IPOSC (American Association for Pediatric Ophthalmology and Strabismus -International Pediatric Ophthalmology and Strabismus Council)

2013年 7月 13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)・16日：シンガポール

5)第12回国際斜視学会の国内開催(2014年12月1日～4日、京都開催)を支援する。

5. 災害支援事業

(1) 東日本大震災の被災地区における眼科医療活動(プロジェクト・ビジョンバン)へ参加協力し、被災者を対象とした眼科検診を検査面から支援する。

【2】眼科の医療現場で視能検査および視能矯正訓練に携わる視能訓練士個々の学術技能と職業倫理を向上・高揚させる事業

1. 学会事業

(1) 日本視能矯正学会を開催し、次年度以降の学会開催準備を行う。

1)第54回(2013年)学会の開催準備及び開催

2013年11月16日(土)・17日(日)：福岡国際会議場(福岡)

学会テーマ：「明日を見つめて さあ！ここから始めよう」

学 会 長：山田 敏夫(大島眼科病院)

名誉学会長：松井 孝明(大島眼科病院)

2)第55回(2014年)学会開催準備

2014年11月29日(土)：京都

学 会 長：河賀 友紀(神戸大学)

3)第56回(2015年)学会開催準備

2015年11月7日(土)・8日(日)：東京国際フォーラム

学 会 長：根本 加代子(根本眼科)

(2) 日本臨床眼科学会視能訓練士プログラムを開催し、次年度の開催準備を行う

1)第67回日本臨床眼科学会

2013年10月31日(木)～11月3日(日)

会場：パシフィコ横浜(横浜)視能訓練士プログラム

テーマ：「もう一度見直そう拡大鏡選定一潜む落とし穴に陥らないために」

2)第68回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム準備

2014年11月13日(木)～11月16日(日)

会場：ポートピアホテル 神戸国際会議場

(3) 日本眼科学会総会視能訓練士教育セミナーの開催準備を行う

1)第118回日本眼科学会総会視能訓練士教育セミナー

2014年4月2日(水)～4月6日(日)

会場：東京国際フォーラム 帝国ホテル

2. 講習研修事業

(1) 講演会を開催し、次年度の開催準備を行う。

1) 第29回開催 2013年6月2日(日): 有楽町朝日ホール(東京)

講演内容: 「新しいOCTの概念と形態構造～正常網膜から脈絡膜疾患まで」

演者: 板谷 正紀准教授(京都大学)

2) 第30回開催準備 2014年6月1日(日): (大阪)

(2) 研修会を開催し、次年度の開催準備を行う。

1) 第12回研修会開催 2013年6月2日(日): (東京) 第29回講演会と併催

研修内容: 「成人の眼鏡」

2) 第13回研修会開催準備 2014年6月1日(日): (大阪) 第30回講演会と併催

(3) 光学と眼鏡に関する研修会を後援し、次年度の開催準備に協力する。

2013年8月3日(土)・4日(日)眼光学チュートリアルセミナー

3. 教育事業

(1) 視能訓練士生涯教育制度の各教育プログラムを実施する。

1) 新人教育プログラム

講義日程

2013年7月14日(日)・15日(月・祝) 機械振興会館(東京)

2013年9月15日(日)・16日(月・祝) 難波御堂筋ホール(大阪)

技術日程 ブロック単位開催

北海道ブロック

7月21日(日)視野検査

吉田学園医療歯科専門学校

8月25日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査

吉田学園医療歯科専門学校

9月1日(日)視力・屈折検査

吉田学園医療歯科専門学校

東北ブロック

9月22日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査

仙台医健専門学校

9月23日(月・祝)視野検査

仙台医健専門学校

11月10日(日)視力・屈折検査

東北文化学園大学

関東甲信越ブロック

7月28日(日)視力・屈折検査

帝京大学医療技術部

8月25日(日)視野検査

帝京大学医療技術部

2014年1月26日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査

帝京大学医療技術部

東京ブロック

7月28日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査

帝京大学医療技術部

8月25日(日)視力・屈折検査

帝京大学医療技術部

2014年1月26日(日)視野検査

帝京大学医療技術部

東海・北陸ブロック

6月16日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査

愛知淑徳大学

9月22日(日)視力・屈折検査

愛知淑徳大学

10月13日(日)視野検査

愛知淑徳大学

近畿ブロック

6月9日(日)視力・屈折検査	京都医健専門学校
6月30日(日)視野検査	大阪医療福祉専門学校
10月13日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査	大阪医療福祉専門学校

中四国ブロック

6月16日(日)視力・屈折検査	川崎医療福祉大学
11月24日(日)視野検査	川崎医療福祉大学
2014年3月9日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査	川崎医療福祉大学

九州ブロック

9月22日(日)視力・屈折検査	大分視能訓練士専門学校
9月23日(月・祝)視野検査	大分視能訓練士専門学校
10月20日(日)両眼視・眼位・眼球運動検査	熊本大学医学部山崎記念館

2) 基礎教育プログラム

基礎教育プログラムⅡ 開催

2013年7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)	機械振興会館(東京)
2013年9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝)	難波御堂筋ホール(大阪)

基礎教育プログラムⅢ 開催

2013年9月28日(土)・29日(日)	機械振興会館(東京)
2013年11月30日(土)・12月1日(日)	CIVI新大阪研修センター(大阪)

3) 専門教育プログラム

専門教育プログラムの実施に向けた準備を行う。

(2) 公益財団法人医療研修推進財団が主催する実習施設指導者等養成講習会を後援する
2013年9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝)：大阪医療福祉専門学校(大阪)

(3) 施設見学研修を行う。

実習施設指導者等養成講習会修了者(全修了者)が勤務する施設で、2013年9月から2014年3月の間、希望者に対して施設の見学および研修を行う。

(4) 「眼科スタッフビデオ」シリーズのDVDを希望者に貸し出し、技術研修に役立てる。

4. 出版事業

(1) 日本視能訓練士協会誌(学術論文集、第42巻)を雑誌として発刊し、電子ジャーナル(J-STAGE)を公開する。

(2) 日本視能訓練士協会会報(第121号、第122号)を2013年10月と2014年3月に発行する。

その他の事業(相互扶助等事業)

視能訓練士の資質向上を目的とした自己研鑽を奨励し、学術技能を評価して認定および表彰する事業

1. 学術奨励賞授与

(1) 該当論文を選出し、第5回学術奨励賞を授与する。

2013年度に発行予定の日本視能訓練士協会誌第42巻に投稿された学術論文の、対象論文から選考し、第54回日本視能矯正学会で学術奨励賞を授与する。

2. 「認定視能訓練士」および「専任教員」の認定・更新

(1) 視能訓練士生涯教育制度基礎教育プログラムを修了し、所定の条件を満たす者を「認定視能訓練士」と認定する。

(2) 専任教員認定制度の認定条件を満たす者を「専任教員」と認定し、以後5年ごとの認定更新を行う。

(3) 視能訓練士専任教員認定制度を見直し、改定する。

以上